

ふるさと今昔講座 ～第2回講座～

ふるさと今昔講座を7月13日（火）東城自治振興センターにおいて開催しました。

近藤芳弘さんが、これまで久代宮氏の追跡をしてこられた内容を、久代歴史の里づくり実行委員会によって発行された「新久代記」を参考にしながら進めていただきました。今回、久代地域以外の方に知られていなかった「新久代記」ですので、急遽高尾純子さんに史料を読み進めていただきながら、初めて久代宮氏を研修される方にもわかるようにと、近藤光香さんのご協力をいただき、近藤芳弘さんが撮られた写真を提示して説明をしてくださいました。

久代宮氏が城を構えた飛田山城（久代宮原）や大富山城（西城）の山城の様子、今の山城の状況。毛利氏との関係。尼子氏との合戦の様子。久代宮氏は、東城五本ヶ竹城に城を築いていたこと。さらに、久代宮氏の歴史的な動きや家紋の由来など説明していただきました。現地の状況を調査され、わかりやすくなるように準備をしていただき、とても分かりやすい講座となりました。

最後に、事務局から、東城町史には、小奴可の亀山城にいた奴可入道西寂が、宮氏の祖先という説や藤原実頼小野宮流の出自であることが言われていました。最近発表された広島大学大学院の研究レポートに、「奴可入道西寂が、『国奉公人』という特別な地位にあり、備後吉備津一宮・宮下野守と深い関係があった。」ということが発表され、東城町史以後の歴史の動きを知っていただきました。新たな視点で、久代宮氏と下野守（備後宮氏）・九条家との関係を調べることで、久代宮氏の出自と繋がっていくことをお話しました。（夕）



ウーマンカレッジ ～7月の行事～

ウーマンカレッジでは7月26日（月）に、講演会を行い、30名の参加がありました。講演会が始まるまで久しぶりに顔を合わせた皆さんはそれぞれ三密を避けつつ話に花がさいていました。

今回は『コロナ禍のなかでのこれから～不安なこと・知りたいこと～』と題して東城支所 保健師 松本麗華さんにお話をいただきました。

ワクチン接種をした後の生活の仕方や、接種をされなかった方に対する差別の防止などお話をいただきました。会員から松本さんへ質問もあり、コロナ感染症やワクチン接種のことへの関心の高さがうかがえました。(S)



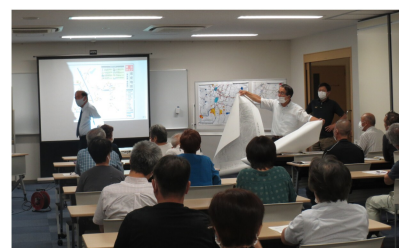
防災研修会

7月21日（水）、東城自治振興区では防災マップ作りを目的とした防災研修会を開催しました。

講師に口和自治振興区区長 清水孝清さん、地域マネージャー 福田豊明さんを迎え、口和自治振興区で実際に防災マップを作製した際の目的や行程などを説明していただきました。

市民が主体となって描いた地図、避難をするときに避難場所までの経路で危険な場所、役立つ施設など災害時に重要な情報源として活用できるのが防災マップです。実際に町歩きをし、昔にここがくずれた、この用水路はすぐあふれるなどの情報や危険個所としてブロック塀や狭い道も盛り込み、役立つものとして井戸水や消火栓を、自然災害が発生した場合に素早く安全に避難するために必要な情報を地図に落とし込んで口和自治振興区では防災マップを作成されました。

この防災マップを東城自治振興区地域でも作成する予定です。今回の研修をこれからの防災マップ作り活動に生かしていきます。



庄原市東城文化ホール 夏休み親子映画劇場



8月24日(火)

13:30 上映開始

前売券 こども 100円
高校生以上 200円

※未就学児の入場は保護者の
同伴をお願いします。

| 行事名 | とき | 8月からの行事内容 |
|-------------------------------|-------------------------------------|--|
| ふるさと今昔講座 (講座は会員以外でも受講できます) | 8月10日(火) 13:30~ | ・第3回講座 郷土の自然と歴史と文化 「帝釈峡遺跡群発掘調査 60年」 講師 時悠館 館長 佐古 辰巳氏 会場 東城自治振興センター |
| | 9月14日(火) 13:30~ | ・第4回講座 郷土の自然と歴史と文化 「中国地方の鳥」 講師 漆谷 光名氏 会場 東城自治振興センター |
| ウーマンカレッジ | 8月はお休みです 連日猛暑が続いています、気を付けてくださいね。 | |
| しごんぼ隊 | 8月7日(土) | ・詳細はお送りしている文書をご覧ください |
| 東城文化ホール | 8月24日(火) 13:30~ | ・夏休み親子映画劇場 『トロールズ』 |

熱中症警戒アラート発表時は **徹底した予防行動** を!



エアコンを適切に使用しましょう

- 昼夜問わずエアコン等を使用して温度調節をしましょう。



外出はできるだけ控え、暑さを避けましょう

- 熱中症を予防するためには暑さを避けることが最も重要です。
- 不要不急の外出はできるだけ避けましょう。



熱中症のリスクが高い方に声かけをしましょう

- 高齢者、子ども、持病のある方、肥満の方、障害者等は熱中症になりやすい方々です。これらの熱中症のリスクが高い方には、身近な方から、夜間を含むエアコンの使用やこまめな水分補給等を行うよう、声をかけましょう。



外での運動は、原則、中止/延期をしましょう

- 身の回りの暑さ指数 (WBGT) に応じて屋外やエアコン等が設置されていない屋内での運動は、原則、中止や延期をしましょう。



普段以上に「熱中症予防行動」を実践しましょう

- のどが渇く前にこまめに水分補給をしましょう。(1日あたり1.2Lが目安)
- 屋外で人と十分な距離 (2メートル以上) を確保できる場合は適宜マスクをはずしましょう。
- 涼しい服装にしましょう。



暑さ指数 (WBGT) を確認しましょう

- 熱中症を予防するためには暑さを避けることが最も重要です。
- 不要不急の外出はできるだけ避けましょう。



※環境省熱中症予防情報サイト: <https://www.wbgt.env.go.jp/>

学校やイベントの管理者等においては現場に応じた対応策をあらかじめ定め、熱中症警戒アラート発表時には速やかに実行してください。